

講義計画書

(シラバス)

2023 年度

第 31 期生

【2 年次】



宮本看護専門学校

学籍番号	氏名
------	----

基礎分野	科学的思考の基礎	配当時期	2年次前期	担当者(担当時間数)	
科目名	看護情報学	単位数	1単位	富田 美加 (15)	
		時間数	15時間		
科目全体のねらい・到達目標 看護の情報を科学的に活用できる基礎をつくる 1. 看護情報学の基礎を理解する 2. 看護師における情報倫理の重要性を理解する 3. 今後の学習に必要なとなる学術情報の入手及び活用に関する方法を理解する					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	10/27	1限	授業オリエンテーション 看護と情報 看護情報学の定義	講義・演習	富田
2		2限	看護における情報倫理		
3		3限	看護における学術情報とその探索:理論と実際		
4		4限			
5	11/10	1限	看護における学術情報の評価と活用:理論と実際		
6		2限	看護におけるICTの活用		
7		3限	技術改新と看護学		
8		4限	筆記試験		
備考					
評価方法 筆記試験80% 課題20%					
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座 別巻「看護情報学」 富田美加他 看護にいかす文献検索入門:学び続けるための情報探索スキル:中央法規 2021					
参考文献 ヴァージニアヘンダーソン著看護の基本となるもの(最新装版)日本看護協会出版会 2016					

基礎分野	人間と生活・社会の理解	配当時期	2年次前期	担当者(担当時間数)	
科目名	家族関係論	単位数	1単位	小笠原 尚宏(15)	
		時間数	15時間		
科目全体のねらい・到達目標 1. 家族という集団がもつ特徴について、家族システム、家族発達、家族セルフケアの視点から理解する 2. 家族をケアの対象として位置づけ看護することの意味と必要性を理解する 3. 家族の全体像を捉え、家族としての力を発揮するための支援の方法を考えることができる					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	9/12	1限	家族とは 社会集団としての家族	講義・演習	小笠原
2	9/19	1限	家族構造 核家族と近代家族		
3	9/26	1限	家族機能 社会における家族機能 家族内の地位と役割		
4	10/3	1限	現代の家族と課題 家族の多様性 子供観の変化と親子関係		
5	10/10	1限	揺らぐ家族 家族問題と家族危機 現代社会の家族病理		
6	10/24	1限	現代家族と医療・保健・福祉①		
7	10/31	1限	現代家族と医療・保健・福祉②		
8	11/7	1限	筆記試験	講義	
備考					
評価方法 筆記試験80% 課題レポート 20%態度					
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座 別巻「家族看護学」					
参考文献					

基礎分野	人間と生活・社会を理解する	配当時期	2年次前期	担当者(担当時間数)	
科目名	英語Ⅱ	単位数	1単位	城倉 純子(15)	
	臨床英語	時間数	15時間		
科目全体のねらい・到達目標					
1. 医学や福祉・看護に関する英語表現を学び、看護の場で生かせる能力を養う 2. 看護を行う上で必要な情報を得るための基本的な医学英語を理解する 3. 看護・医療にかかわる基本的な語彙の意味を理解できる					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	4/27	2限	1. 医学英語の基礎・医学英単語	講義・演習	城倉
2	5/11		2. 看護文献・医療関係のニュースの読解		
3	5/18		3. 「キュアとホスピタリティの英語Ⅰ」		
4	5/25				
5	6/1				
6	6/8				
7	5/15				
8	5/29		筆記試験		
備考					
評価方法 筆記試験100点					
使用するテキスト 弓プレス「キュアとホスピタリティの英語Ⅰ」 配布資料					
参考文献					

基礎分野	人間の生活・社会の理解	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)	
科目名	臨床心理学	単位数	1単位	常木 暎生(15)	
		時間数	15時間		
科目全体のねらい・到達目標 1. 臨床心理学の基礎的知識を習得する 2. 臨床心理学の歴史、基本理論、介入方法を理解し、これらの知識を実際の援助的人間関係の場でのように応用するかを学ぶ					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	9/13	3限	臨床心理学の歴史	講義	常木
2	9/14	3限	臨床心理学の理論		
3	9/27	3限	心の問題		
4	9/28	3限	心理療法		
5	10/26	3限	来談者中心療法		
6 7	11/9 11/22	3限	カウンセリング基礎技能①傾聴すること ②共感すること	演習	
8	11/22	4限	筆記試験		
備考					
評価方法 筆記試験80% 課題 20%					
使用するテキスト 有斐閣アルマ「臨床心理学入門」多様なアプローチを越境する 配布資料					
参考文献					

専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の促進	配当時期	2年次前期	担当者(担当時間数)	
		単位数	1単位	古庄 健太郎(8)(龍ヶ崎済生会) 伴野 悠士 (8)(筑波メディカル)	
科目名	病態学Ⅳ	時間数	30時間		
教育内容	脳神経 リハビリテーション				
科目全体のねらい・到達目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳神経機能障害を起こす、脳神経疾患の病態生理を理解する 2. 脳神経系疾病を持つ人の身体的アセスメントができる基礎的知識を習得し、検査・治療の方法を理解する 3. リハビリテーションの概念・定義、リハビリテーション医療について理解する 4. リハビリテーション医療に携わる様々な医療専門職の役割・現状・課題を理解する 5. 多職種からなるチーム・アプローチについて相互の協力、連携の重要性について理解する 					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	5/11	3限	脳神経系の診断と内科的治療 中枢神経疾患	講義	古庄
2	5/25		脊髄疾患 末梢神経障害		
3	6/1		神経・筋疾患 脱髄・変性疾患		
4	6/8		感染症(脳炎・髄膜炎)・中毒性疾患		
5	5/26	1限	脳神経系の診断と外科的治療	講義	伴野
6	6/12		頭部外傷		
7	7/3		脳腫瘍		
8	7/10		脳血管障害 脊髄疾患		
9	9/12	4限	1. リハビリテーションの定義と理念	講義	宮本
10	9/19		2. チームで取り組むリハビリテーション 3. 1)疾患リハビリテーション(運動器)		
11	9/29	4限	リハビリテーションにおける理学療法士の役割・現状	講義	塚本
12	9/11	4限	リハビリテーションにおける作業療法士の役割・現状	講義	柏崎
13	9/25	3限	リハビリテーションにおける言語療法士の役割・現状 食・嚥下療法の実際	講義	水海
14	9/11	3限	1)疾患リハビリテーション(脳卒中)	講義	坂本
15		4限			
備考					
評価方法 筆記試験 100点					
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座 成人看護学「脳・神経」 別巻「リハビリテーション看護」					
参考文献					

専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の促進	配当時期	2年次前期	担当者(担当時間数)	
		単位数	1単位	宮本 和宜 (12)(宮本病院)	
科目名	病態学Ⅴ	時間数	30時間	岡本 一 (8)(筑波学園病院)	
教育内容	内分泌・免疫・感染症 女性生殖器 眼・耳鼻咽喉・皮膚			木村 衣里 (2)	
				大塚 康司 (4) (東京医大茨城医療センター)	
				石川 貴裕 (4) (JA とりで総合医療センター)	
科目全体のねらい・到達目標 1. 内分泌機能障害を起こす、内分泌疾病の病態生理を理解する 2. 内分泌疾患をもつ人の身体的アセスメントができる基礎的知識を習得し、検査・治療の方法を理解する 3. 血液・造血器障害を起こす、循環器疾患の病態生理を理解する 4. 看護実践の基本となる婦人科疾患や周産期の管理や異常妊娠・分娩等についての概略を説明できる ・性・生殖機能障害を起こす、女性生殖器疾患・産褥婦の異常の病態生理を理解する ・女性生殖器疾患・産褥婦の異常のある人の身体的アセスメントができる基礎的知識を習得し、検査・治療の方法を理解する 5. 感覚機能障害を起こす、眼科・耳鼻科・皮膚科疾患の病態生理を理解する 6. 眼科・耳鼻科・皮膚科疾患を持つ人の身体的アセスメントができる基礎的知識を習得し、検査・治療の方法を理解する					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	10/4	3限	6. 内分泌・免疫疾患の診断	講義	宮本
2	10/11		7. 内分泌・免疫疾患の治療		
3	10/25		8. アレルギー・感染症の診断と治療法		
4	11/1				
5	11/8				
6	11/15				
7	5/17	3限	1. 女性生殖器系疾患 診断と治療	講義	岡本
8	5/17	4限	子宮筋腫・子宮内膜症・卵巣嚢腫		
9	5/31	3限	子宮腫瘍・卵巣腫瘍(子宮体癌・子宮頸癌)		
10	5/31	4限	生殖機能障害		
11	6/29	4限	眼疾患系 症状と解剖生理、疾患と治療・検査 白内障、緑内障、網膜剥離 網膜症など	講義	木村
12	5/30	4限	耳鼻咽喉系 鼻の解剖と鼻副鼻腔疾患 嗅覚・味覚障害 聴覚器の解剖と耳疾患メニエール病他	講義	大塚
13	6/6				
14	6/9	3限	皮膚の疾患・検査・治療 湿疹・アトピー性皮膚炎・帯状疱疹・疥癬・蜂窩織炎)	講義	石川
15		4限			
備考					
評価方法 筆記試 100 点					
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座成人看護学「内分泌」「免疫」「女性生殖器」「耳鼻」「眼」「皮膚」					
参考文献					

(実務経験のある教員等による授業科目)

専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の促進	配当時期	2年次前期	担当者(担当時間数)	
		単位数	1単位	石井 徳恵(26)	
科目名	病態学Ⅵ	時間数	30時間	(宮本病院)	
教育内容	精神疾患 産科			後藤 久美子(4) 看護師臨床経験有	
<p>科目全体のねらい・到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 系統別疾患について、臓器系機能障害の概要を知り、それぞれの機能の障害が起こる疾患の病態 生理・症状・診断・治療を理解する。またそれらの機能障害が日常生活に及ぼす影響を理解する 2. 精神と健康の関係について理解した上で精神科診断と治療について総論的に学び精神科臨床において重要な精神疾患についてその診断、病因治療経過予後などを理解する 3. 精神科疾患をもつ人のアセスメントができる基礎的知識を習得し、検査・治療の方法を理解する 4. 周産期の病態生理、治療・管理について理解する。 					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	4/27	1限	精神・心身の疾患の病態と診断・治療	講義	石井
2	5/11		器質性精神障害		
3	5/18		精神作用物質使用による精神・行動の異常(アルコール依存症		
4	5/25		覚せい剤・大麻精神病)		
5	6/1		統合失調症		
6	6/8		気分(感情)障害(うつ病、双極性障害)		
7	6/15		神経症性障害ストレス関連障害(パニック障害 PTSD 適応障害)		
8	6/29		生理的障害、身体的要因に関連した精神障害または行動症候群		
9	7/6		(摂食障害・不眠症・ナルコレプシー)		
10	7/13				
11	9/7				
12	9/14				
13	9/21				
14	5/30	3限	産科 正常な妊娠・分娩・産褥の経過	講義	後藤
15	6/5	1限			
備考					
<p>評価方法 筆記試験 100点</p>					
<p>使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座 精神看護学の基礎 母性看護学各論</p>					
参考文献					

専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の促進	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)			
		単位数	1単位	寺内 真理子(20) 縣 一志(8) (東京医大茨城医療センター)			
科目名	病態学Ⅶ	時間数	30時間	小野 健太郎(2) (JAとりで総合医療センター)			
教育内容	小児内科・外科						
<p>科目全体のねらい・到達目標</p> <p>小児の健やかで豊富な成長をサポートするために常に変化(発育・発達)する小児の特徴を理解し、小児期の疾患の予防と治療、看護援助の基本を習得する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児期によくみられる機能障害について身体的アセスメントができる基礎知識を習得し、検査・治療の方法を理解する 2. 小児期に特徴的な疾患の病態生理を説明することができる 3. 小児期疾患に対する治療と予防の概念、看護活動の基本を説明することができる 							
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当		
1	6/7	2限	小児の発育・発達と疾病が与えるインパクト	講義	縣		
2	6/28		先天異常と新生児疾患(染色体異常 低出生体重児、乳幼児突然死症候群等)				
3	7/5		小児科に特徴的な感染症(ウイルス感染症、細菌感染症)				
4	7/12		小児の神経疾患・小児科に受診する精神疾患(痙攣性疾患・熱性けいれん、てんかん、発達障害、摂食障害など)				
5	4/12	3限	小児の免疫・アレルギー疾患・呼吸器疾患(気管支喘息、食物アレルギー、免疫異常 リウマチ性疾患等)	講義	寺内		
6	5/10						
7	5/24	3限	小児の代謝・内分泌疾患(小児糖尿病、先天性代謝異常、成長に関わる内分泌疾患等)				
8	6/7	3限	小児の循環器・消化器疾患(先天性心疾患、肥厚性幽門狭窄症、腸重積症、先天性胆道閉鎖症、)				
9		4限					
10	6/14	3限	小児の血液疾患・悪性腫瘍・腎疾患(貧血、出血性疾患、造血器腫瘍、急性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群)				
11	6/28						
12	7/5	3限	運動器疾患 先天性股関節脱臼、先天性内反足、先天性筋性斜頸、先天性側彎症)				
13	7/12						
14	7/19						
15	7/14	3限	小児外科:特徴・外科疾患の主症状・術前術後管理、麻酔と術後管理			講義	小野
備考							
<p>評価方法</p> <p>筆記試験100点</p>							
<p>使用するテキスト</p> <p>医学書院 系統看護学講座 小児看護学「小児看護学総論」、「小児臨床看護総論・各論」</p>							
参考文献							

専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の促進	配当時期	2年次前期	担当者(担当時間数)	
		単位数	1単位	諸岡 とし江(2)(宮本病院)	
科目名	病態学Ⅷ	時間数	15時間	増田 尚江(5)(宮本病院)	
教育内容	臨床検査・画像診断 外科的治療 麻酔緩和			大友 尚子(6) (JA とりで総合医療センター)	
				田口 典子(2)(県立医療大)	
科目全体のねらい・到達目標 1. 臨床検査の意義を理解や目的を理解し検査データを解釈できる基礎的知識を習得する 2. 医療用機器の原理と実際について理解する 3. 手術療法の特徴と身体侵襲、麻酔法、外科的治療の実際について理解する 4. 放射線療の実際と特徴、放射線による障害と防護を理解する					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	5/16	4限	臨床検査とは 画像診断 X線診断 CT MRI 超音波検査 核医学検査 IVR 血管造影	講義	諸岡
2	5/23	3限	看護に活用する医療機器の原理	講義・演習	増田
3		4限			
4	6/6	3限	外科的治療手術療法の目的と意義 外科的侵襲と生態 の反応 呼吸管理 体液・栄養管理 術後の管理と術後合併症の管理 外科的治療の実際	講義	大友
5	6/13	3限			
6	6/13	4限			
7	6/5	2限	麻酔・ペインコントロール 緩和療法放射線療法	講義	田口
8			終講試験	試験	増田
備考					
評価方法 筆記試験 100点					
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座 別巻「臨床検査」「臨床外科総論」「臨床外科各論」「がん看護学」 疾病の成り立ちと回復の促進「臨床薬理学」					
参考文献					

専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の過程	配当時期	2年次前期	担当者(担当時間数)	
		単位数	1単位	坂本牧子(7)(宮本病院)	
科目名	臨床薬理学	時間数	15時間 (試験含む)	眞弓貴子(4)(宮本病院) 佐藤真弓(2)(宮本病院) 来栖理恵(2)(宮本病院)	
<p>科目全体のねらい・到達目標</p> <p>処方された薬剤の管理及び対象に現れる作用・副作用を理解し、適正な薬物療法を行うための基礎的能力を養う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 代表的な疾患の回復を促進する薬の薬効、作用機構、副作用、薬物療法全般について理解する 2. 薬物によって対象に起こりうる状態を判断できる基礎的知識を理解する 					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	4/27	4限	代謝障害と治療薬	講義	坂本
2	5/11		心臓・血管系に作用する薬物	講義	眞弓
3	5/18		呼吸器・消化器に作用する薬物	講義	坂本
4	5/25		抗がん薬	講義	佐藤
5	6/1		アレルギーの治療薬	講義	眞弓
6	6/8		抗感染症薬	講義	来栖
7	6/15	14:15 ～ 16:40	中枢神経・末梢神経に作用する薬物その他の主な治療薬 (副腎皮質ステロイド薬・麻薬・予防接種薬・救急時に用いる 薬剤・輸血・輸液製剤)	講義	坂本
8	6/15		終講試験		
備考					
<p>評価方法</p> <p>筆記試験100点</p>					
<p>使用するテキスト</p> <p>医学書院 系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進「薬理学」</p>					
参考文献					

専門基礎分野	健康支援と社会保障制度	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)	
科目名	健康教育論	単位数	1単位	吉良 淳子(15) (県立医療大学教授)	
		時間数	15時間		
科目全体のねらい・到達目標					
1. 対象が自己の健康を保持増進するための行動の変容ができるよう、支援者として必要な健康教育の基本理念・概念を学ぶ 2. 健康教育モデルを活用し指導できる 3. 人間にとっての健康の意味を理解し、人々の健康を保持・増進する健康教育の基礎的知識を習得する					
回	日	時間	学習内容	方法	担当
1	12/5	3限	健康の概念 教育の概念 健康モデルの変遷(指導モデルから学習援助モデルへ)	講義	吉良
2	12/15	3限	大人の学びの特徴	講義	
3	12/20	3限	アンドラゴジーモデル・エンパワメントモデル		
4	1/9	3限	ARCSモデル 動機付け理論		
5	1/30	3限	健康状態と学習方法の関係 セルフケア・セルフエフェカシー・エンパワメント		
6	2/6	3限	理論を活かした健康教育の実際	演習	
7	2/26	3限	教育指導のプレゼンテーション		
8			終講試験		
備考					
評価方法 課題レポート 50%、討議・発表(態度を含む)50%					
使用するテキスト					
参考文献 医学書院 看護学概論 成人看護学概論					

専門基礎分野	健康支援と社会保障制度	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)	
科目名	公衆衛生学	単位数	1単位	堀 紀子 (15)	
		時間数	15時間		
科目全体のねらい・到達目標 / 人々の健康な生活を守るための公衆衛生の理念を理解し、健康支援のための地域におけるさまざまな施策と保健活動を理解する 1. 公衆衛生の理念・技術を理解する 2. 産業保健、感染症を含む環境保健について理解する					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	12/22	3限	1. 公衆衛生の基礎 1) 公衆衛生の理念 ① 公衆衛生における医療の役割	講義	堀
2	12/22	4限	2. 公衆衛生のエッセンス ① プライマリヘルスケア ② ヘルスプロモーション 3. 公衆衛生の活動対象 4. 公衆衛生のしくみ	講義 講義	
3	2/2	2限	5. 集団の健康を捉えるための手法	講義	
4	2/2	3限	6. 公衆衛生と環境保健	講義	
5	2/2	4限	1) 生活環境 ① 環境要因とは ② 公害からの教訓 ③ 地球環境問題 ④ 身の回りの環境問題 ⑤ 環境保全のために	講義 講義	
6	2/9	3限	2) 産業保健	講義	
7	2/9	4限	① 労働者を取り巻く環境 ②労働者の健康状態 働く人々の健康を守る活動—労働衛生対策の基本 ④ 産業保健に期待される活動	講義 講義	
8			テスト	試験	
備考					
評価方法 筆記試験100点					
使用するテキスト「 1. 医学書院 系統看護学講座健康支援と社会保障制度「公衆衛生」 2. 厚生労働統計協会 「国民衛生の動向」					
参考文献					

専門基礎分野	健康支援と社会保障制度	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)	
科目名	社会福祉	単位数	1単位	大宮 明 (24) (特別養護老人ホーム水郷荘) 丹波 雅博 (6) (特別養護老人ホーム水郷荘)	
		時間数	30時間		
科目全体のねらい・到達目標 生活者のくらしの実態と、社会保障・社会福祉制度について理解する <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本福祉保健制度についてその理念、機能を理解する 2. 福祉に関する国の保健制度について理解する 3. 医療保険制度について理解する 4. 介護保険制度について理解する 5. 国民年金制度について理解する 6. 社会福祉サービス内容について理解する 7. 社会福祉の援助技術について知る 8. 社会福祉の諸外国、日本の歴史を学び、これからの社会福祉の展望について学ぶ 					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	6/30	1限	1. 社会保障制度 (概念、目的、機能)	講義	大宮
2	7/7				
3	7/14		2. 医療保障		
4	7/21				
5	9/15		3. 介護保障		
6	9/22		4. 所得保障		
7	9/28		5. 公的扶助		
8	11/20	2限	6. 社会福祉の分野とサービス 高齢者福祉	講義	丹波
9	11/27				
10	12/4				
11	10/6	1限	障害者福祉 児童福祉法 母子保健法	講義	大宮
12	11/17				
13	11/24				
14	12/1				
15	12/8		7. 社会福祉実践と医療・看護 1) 社会福祉援助(定義、規定、分類、検討課題) 2) 個別援助技術、集団援助技術 3) 間接援助技術、関連援助技術 4) 社会福祉実践と医療と看護との連携 8. 社会福祉の歴史 これからの社会福祉の展望	GW	
備考					
評価方法 筆記試験 100点					
使用するテキスト 1. 医学書院 系統看護学講座「社会保障・社会福祉」 2. 「国民衛生の動向」					
参考文献					

(実務経験のある教員等による授業科目)

専門基礎分野	健康支援と社会保障制度	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)	
科目名	関係法規	単位数	1単位	黒田 晴之(8) (特別養護老人ホーム水郷荘) 平野 真紀子(7) 看護師臨床経験有	
		時間数	15時間		
科目全体のねらい・到達目標 法律や保健医療情勢に関する基礎的な知識と看護職に必要な法規を理解する 1. 医療に関する法の基本原理と仕組みを理解する 2. 看護職の法的根拠である保健師助産師看護師法について理解する 3. 看護業務と医療事故に対する看護の法的責任を理解する 4. 労働者としての権利と患者の安全を衛ための関連する法律について理解する					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	12/6	1限	1法の概念 医事法	講義	平野
2	12/6	2限	看護法		
3	12/15	2限	保健衛生法		
4	12/15	1限	社会保険法	講義	黒田
5	12/22		福祉法		
6	2/2		労働法と社会基盤整備		
7	2/9		環境法		
8			筆記試験		平野
備考					
評価方法 筆記試験 100点					
使用するテキスト 1. 医学書院 系統看護学講座 健康支援と社会保障制度 「看護関係法令」					
参考文献					

(実務経験のある教員等による授業科目)

専門分野	基礎看護学	配当時期	2年次前期	担当者(担当時間数)	
科目名	看護技術Ⅲ	単位数	1単位	砂長久枝(4) 看護師臨床経験有 増尾真由美(8) 看護師臨床経験有 岩田彩華(10) 看護師臨床経験有 オスキー(8)	
教育内容	ヘルスアセスメント	時間数	30時間		
科目全体のねらい・到達目標 1. 日常生活行動から考えるヘルスアセスメントの意義と目的を理解する 2. 身体的健康上の問題を明らかにするために必要な観察技術を習得する 3. 事例を通し、疾患の査定と日常生活行動レベルを把握し、適切な看護援助を導くことができる (系統別で事例展開)					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	5/10	4限	ヘルスアセスメントとは	講義	岩田
2	5/12	4限	身体計測	演習	
3	5/17	2限	心理的側面・社会的側面のアセスメント	演習	
4	5/23	1限	系統別フィジカルアセスメント 呼吸器系 事例検討	講義	増尾
5	5/23	2限	〃	〃	
6	5/26	1限	系統別フィジカルアセスメント 循環器系 事例検討	講義	岩田
7	5/26	2限	〃	〃	
8	7/5	1限	系統別フィジカルアセスメント 消化器系 事例検討	講義	砂長
9	9/6	2限	〃	〃	
10			系統別フィジカルアセスメント 脳神経系 事例検討	講義	増尾
11			〃	〃	
12	9/12	1限	オスキー	演習	岩田 増尾 砂長
13		2限	〃		
14		3限	〃		
15		4限	〃		
備考					
評価方法 筆記試験、オスキー評価 合計100点					
使用するテキスト 医学書院 基礎看護学[2] 看護技術Ⅰ・Ⅱ 日本看護協会出版 日常生活行動からみるヘルスアセスメント					
参考文献					

(実務経験のある教員等による授業科目)

専門分野	基礎看護学	配当時期	2年次前期	担当者(担当時間数)	
科目名	看護技術Ⅶ	単位数	1単位	野原 恵美(24) 看護師臨床経験有 池田 洋子(4) 看護師臨床経験有 砂長 久枝(2) 看護師臨床経験有	
教育内容	診察・検査・与薬(採血)・ 包帯法・吸引・吸入・洗浄	時間数	30時間		
科目全体のねらい・到達目標					
1. 診察・検査における看護師の役割と看護の実際について理解する					
2. 与薬・注射技術の生体への影響と援助方法を習得する					
3. 包帯法を使用する意義・目的について理解し、患者の負担軽減・安全に留意した包帯法を習得する					
4. 吸入吸引・洗浄の原理・原則を理解し、生体に与える影響を考慮して効果的な援助方法を習得する					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	4/5	3限	与薬とは 薬物療法における看護師の役割 薬物療法の基礎知識 ・経口・口腔内・直腸内与薬・経皮的与薬・点眼・点鼻	講義	野原
2	4/11	2限	注射の基本的知識と技術 実施上の責任、注射の準備 注射器の取り扱い・薬液の吸い上げ・注射方法	講義 演習	
3	4/11	3限	〃	講義 演習	
4	5/8	1限	皮下注射・皮内注射・筋肉注射・静脈内注射・点滴静脈注射 基礎知識と技術	〃	
5	5/8	2限	〃	〃	
6	5/10	3限	輸液ポンプ、シリンジポンプ、滴下の計算、ワンショット、側管注	〃	
7	7/11	2限	輸血の看護	〃	
8	9/6	1限	〃	〃	
9	9/6	2限	診察とは 目的・種類・内容 診察時の看護 検査とは 意義・目的と種類 看護の役割	講義	
10	9/8	3限	静脈血採血とは シリンジによる採血技術	講義 演習	
11	9/8	4限	〃	〃	
12	7/6	4限	包帯法 種類・目的・原理・留意点 包帯方法の基本的な巻き方 観察方法と視点	演習	砂長
13	5/16	2限	吸入・吸引・洗浄 酸素療法 吸入役の使用方法和留意点 ネブライザー 吸引の目的・方法・留意点 洗浄方法と留意点と原理(胃洗浄)	演習	池田
14	5/16	3限	〃	〃	
15			終講テスト		野原
備考					
評価方法 筆記試験、課題、演習態度 合計 100点					
使用するテキスト 医学書院 解剖生理学 人体の構造と機能1 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第2版					
参考文献					

(実務経験のある教員等による授業科目)

専門分野	基礎看護学	配当時期	2年次前期	担当者(担当時間数)	
科目名	看護技術Ⅷ	単位数	1単位	池田 洋子(4)	
教育内容	看取り 危篤・終末・死亡時の看護、救急看護	時間数	15時間	看護師臨床経験有 砂長 久枝(11) 看護師臨床経験有	
科目全体のねらい・到達目標 1. 危篤・終末期にある対象とその家族の思いを理解できる 2. 対象者の尊厳を尊重した死について考え、看護師としての役割を理解する 3. 救急時に必要な救急蘇生法に関する知識と一時救命処置の技術を学ぶ					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	4/27	3限	グリーンケア 死にゆく人と周囲の人々へのケア	講義	池田
2	5/9	3限	死亡後のケア 死の看取りの援助 終末期の痛みのある患者の看護	講義	
3	10/26	1限	救命救急処置 救急看護とは 主要病態に対する救急処置と看護 心停止状態への対応 一次救命 二次救命	講義・演習	砂長
4	10/26	2限			
5	10/31	2限			
6	11/2	1限			
7	11/2	2限			
8			終講テスト		
備考					
評価方法 筆記試験、課題、演習態度 合計 100点					
使用するテキスト 医学書院系統看護学講座「基礎看護学 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 別巻「救急看護学」 インターメディカ「写真で分かる急変時の看護アドバンス」					
参考文献					

専門分野	基礎看護学	配当時期	2年次前期	担当者(担当時間数)	岩田 彩華 (30)
科目名	看護技術Ⅱ	単位数	1単位	看護師臨床経験有	
教育内容	看護過程	時間数	30時間		
科目全体のねらい・到達目標					
1. 看護過程の位置づけと意義を理解する		3. 看護過程の構成要素とそのプロセスを理解する			
2. 問題解決技法と看護過程の相違を理解する		4. ペーパーパシエントに沿った看護過程を展開する			
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	4/5	4限	1. 看護過程とは 2. 看護師としての看護過程を活用する目的 3. 看護過程を展開するための能力 ①意思②理論の理解③基本的知識・技術 ④クリティカルシンキング能力 ⑤コミュニケーション能力 4. 看護的視点の重要性について(看護と医学の相違)	講義	岩田
2	4/7	3限	1. 看護展開とは 2. 看護過程の概要 5段階 ①アセスメント情報収集→分析(解釈・判断)・統合・推論 ②看護診断 ③計画 ④実施 ⑤評価 3. 看護記録について	講義	
3	4/10	2限	アセスメント① 1. アセスメントとは 2. アセスメントを効果的に行うためには 3. 情報収集の目的・種類・方法 4. 分析(解釈・判断・推論)とは	講義 GW	
4	4/12	1限	アセスメント② ～情報整理～ 1. スクリーニングアセスメント 2. フォーカスアセスメント 必要な情報とは何か(不足情報の特定)	講義 GW	
5	5/10	1限	アセスメント① ～情報整理と分析～ 課題を元にGWを実施し、アセスメントを深める ヘンダーソン 14項目を元に充足・未充足を特定	講義 GW	
6	5/12	1限	アセスメント③ ～分析～ 事例を元に展開 GW発表会 1. 仮の看護問題の特定	講義 GW	
7	5/15	1限	看護診断① 1. 看護診断とは 2. 看護診断過程 3. 関連図とは 4. 関連図の種類と役割(病態関連図・患者関連図) 5. 病態関連図とは	講義	
8	5/15	2限	看護診断② 1. 病態関連図についてまとめ 2. 患者関連図とは 3. 宮本さんの関連図作成	講義 個人学習	
9	5/15	3限	看護診断③ ～看護問題の明確化と統合～ 1. 看護問題を特定するための方法と関連性 問題(P)/関連・危険因子(E)/症状・徴候(S) 2. 看護診断の種類と活用方法 ヘンダーソン・NANDA-I 3. 適切な看護診断を行うために必要なこと	講義	
10	5/16	1限	看護診断④ ～看護問題の特定～ …アセスメント用紙記入(新 NO. 5) 病態条件・常在条件・関連する項目・予測 など ※自分が考える優先順位が高いと思うもの1つ	講義 個人学習	
11	5/18	3限	計画① 1. 看護計画とは 2. 優先度の決定 ・マズローなど 3. 問題リスト 4. 成果と指標とは 方法とポイント 5. 介入計画とは 具体性の重要性について	講義 個人学習	
12	5/19	3限	計画③ 実施するための計画の追加・修正	GW	
13	5/19	4限	実施・評価 宮本さんの看護問題が改善するための看護	シミュレーション学習	
14	5/12	1限	//	//	
15	5/12	2限	看護過程を通して まとめ	講義	
備考					
評価方法 筆記試験+態度、課題 計100点					
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学「基礎看護技術Ⅰ」、学研メディカル「看護過程に沿った対症看護」 ヌーヴェルヒロカワ「看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践」 ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト					
参考文献					

(実務経験のある教員等による授業科目)

専門分野	地域・在宅看護論	配当時期	2年次前期	担当者(担当時間数)		
科目名	地域・在宅援助論Ⅱ	単位数	1単位	増尾真由美(18) 看護師臨床経験有 斎藤真喜江(4)(宮本病院) 平山 松枝(4) (訪問看護ステーションスイトピー) 藤原 里美(4)(宮本病院)		
教育内容	地域で暮らす人々を支える看護	時間数	30時間			
科目全体のねらい・到達目標 1、外来受診、入院、退院、在宅療養、終末期までのさまざまな時期の地域・在宅看護を理解する。 2、地域・在宅看護がロングタームケアであることを理解する。 3、対象者や家族の「物語」に合わせ、暮らしや思い、人生の経過を理解し、対象者や家族の価値観に沿って看護を展開する活動であることを理解する。						
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当	
1	6/14	2限	事例をもとに考える	講義 グループ ワーク	増尾	
2	6/28	1限	地域・在宅看護の療養時期別の看護			
3	7/3	2限	健康な時期の看護			
4	7/4	1限	外来受診期における看護の実際 (外来看護の役割・多職種連携)		グループ ワーク	斎藤
5	7/4	2限				
6	7/13	3限	入院時の看護の実際			藤原
7	7/13	4限	在宅療養準備期(退院前)の看護 (退院調整・退院支援・多職種連携)			
8	7/18	1限	在宅療養移行期(退院後1～3か月)の看護			平山
9	7/18	2限	在宅療養安定期(退院後2～3か月)の看護 急性増悪期の看護・終末期の看護(グリーフケアを含む)			
10	9/11	1限	PBL 学習	グループ ワーク	増尾	
11	9/11	2限				
12	10/30	2限				
13	10/30	3限				
14	10/30	4限				
15			筆記試験, まとめ	試験	増尾	
備考						
評価方法 筆記試験・レポート						
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座「地域・在宅看護の実践」						
参考文献						

(実務経験のある教員等による授業科目)

専門分野		地域・在宅看護論		配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)	
科目名		地域・在宅援助論Ⅲ		単位数	1単位	増尾真由美(18) 看護師臨床経験有 平山 松枝(8) (訪問看護ステーションスイーパー) 星医療酸器(4)	
教育内容		看護技術 医療機器管理		時間数	30時間		
回	日	時間	学習内容と成果			方法	担当
1	9/13	1限	看護技術とは			講義 グループ ワーク	増尾
2		2限					
3	9/25	1限	技術練習			演習	増尾
4		2限					
5	10/23	1限	実習を終えて技術を考える シミュレーション学習			シミュレー ション	増尾
6		2限					
7		3限					
8		4限					
9	11/15	1限	1、暮らしを支える看護技術 (1)暮らしの場で看護をするための心構え (2)セルフケアを支える対話・コミュニケーション (3)地域・在宅看護における家族を支える援助 (4)地域・在宅看護における安全をまもる看護			講義	平山
10		2限					
11	11/27	3限	地域における暮らしを支える看護実践 ① 療養環境調整に関する地域・在宅看護技術 ② 活動・休息に関する地域・在宅看護技術 褥瘡予防 ③ 食生活・嚥下に関する地域・在宅看護技術 在宅における経鼻・経管栄養、胃ろう 在宅中心静脈栄養法(HPN) ④ 排泄に関する地域・在宅看護技術 在宅における排泄ケア 在宅におけるストーマの管理とケア ⑤ 呼吸・循環に関する地域・在宅看護技術 在宅人工呼吸療法 ⑥ 創傷管理に関する地域・在宅看護技術 在宅における褥瘡処置 ⑦ 与薬に関する地域・在宅看護技術 精神患者、認知症などの与薬管理困難な事例			講義	平山
12		4限					
13	11/29	1限	在宅酸素療法(HOT)・福祉用具			演習	星医療酸器
14		2限					
15	12/4	1限	まとめ・筆記試験			試験	増尾
備考							
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座「地域・在宅看護の基礎」「地域・在宅看護の実践」							
参考文献							

専門分野	成人看護学	配当時期	2年次前後期	担当者(担当時間数)	
科目名	成人援助論Ⅲ	単位数	1単位	磯山由紀子(10)(宮本病院)	
教育内容	腎臓器、泌尿器、血液・造血器、乳腺、女性・男性生殖器疾患看護	時間数	30時間	相澤宏実(6) (JAとりで総合医療センター) 宮内友美(6) (JAとりで総合医療センター) 浅野知恵(4)(筑波大学附属病院) 山田文代(4)	
科目全体のねらい・到達目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 各疾患患者の特徴と看護の役割を理解する 2. 各疾患患者の主な検査・治療・処置に伴う看護を理解する 3. 各疾患患者の日常生活活動のアセスメント方法を理解する 4. 各疾患患者のそれぞれの年齢に応じた看護問題から看護援助へのプロセスを理解する 					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	5/12	3限	腎臓器疾患患者の基礎知識	講義	磯山
2	5/26	3限	腎臓器症状とその看護		
3	6/2	3限	腎臓器疾患患者の検査と治療の看護		
4	7/7	4限	腎臓器疾患の看護(腎不全)		
5	7/14	4限			
6	6/30	3限	泌尿器疾患患者の基礎知識	講義	相澤
7	6/30	4限	泌尿器疾患の看護		
8	7/7	3限	男性生殖器疾患の看護 人工肛門増設している患者への看護		
9	11/2	4限	血液・造血器疾患の基礎知識	講義	宮内
10	11/16	3限	血液・造血器疾患の看護		
11	11/16	4限	〃		
12	9/27	1限	乳房疾患の看護(乳がん)	講義	浅野
13	9/27	2限			
14	5/30	1限	女性生殖器疾患の患者の基礎知識	講義	山田
15	5/30	2限	女性生殖器症状とその看護		
備考					
評価方法 筆記試験					
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座 成人看護学「腎臓器」「泌尿器」「血液・造血器」「女性・男性生殖器」など					
参考文献					

専門分野	成人看護学	配当時期	2年次前後期	担当者(担当時間数)	
科目名	成人援助論Ⅳ	単位数	1単位	坂本 理恵(12)(牛久愛和)	
教育内容	脳神経 感覚器(眼・耳鼻・咽頭・皮膚) 内分泌・甲状腺・免疫 アレルギー・膠原病 手術期 看護	時間数	30時間	飯田 英子(2)(JA とりで) 窪田 由花(2)(JA とりで) 奥 慎治(4) 渡邊 恵美子(4) (取手北相馬保健医療センター医師会病院) 黒田 かよ子(6)(宮本病院)	
科目全体のねらい・到達目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 各疾患患者の特徴と看護の役割を理解する 2. 各疾患患者の主な検査・治療・処置に伴う看護を理解する 3. 各疾患患者の日常生活活動のアセスメント方法を理解する 4. 各疾患患者のそれぞれの年齢に応じた看護問題から看護援助へのプロセスを理解する 					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	6/12	3限	脳・神経疾患患者の基礎知識	講義	坂本
2	6/12	4限	脳・神経疾患症状とその看護		
3	7/3	3限	脳・神経疾患患者の検査と治療の看護		
4	7/3	4限	脳疾患患者の看護(脳梗塞・パーキンソン)		
5	7/10	3限	脳疾患患者の看護(事例検討・退院支援)		
6	7/10	4限	リハビリテーション看護		
7	11/7	3限	感覚器疾患看護(眼)	講義	飯田
8	11/14	3限	感覚器疾患看護(耳鼻・咽頭・皮膚)	講義	窪田
9	11/8	4限	内分泌・代謝疾患患者の基礎的知識	講義	奥
10	11/15	4限	内分泌・代謝疾患患者の看護(甲状腺・副甲状腺)		
11	6/29	3限	内分泌・代謝疾患患者(糖尿病)	講義	渡邊
12	7/6	3限			
13	11/29	3限	膠原病の看護	講義	黒田
14	12/6	3限	〃		
15	12/13	3限	アレルギー・免疫疾患患者の看護		
備考					
評価方法 筆記試験 100点					
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 「脳神経」、「感覚器・眼・耳鼻・皮膚」、「内分泌・代謝」、「アレルギー・膠原病」					
参考文献					

(実務経験のある教員等による授業科目)

専門分野	成人看護学	配当時期	2年次前後期	担当者(担当時間数)	
科目名	成人援助論Ⅴ	単位数	1単位	増尾 真由美(8)	
教育内容	がん看護 緩和ケア 緩和薬物療法 感染症 成人看護技術	時間数	30 時間	看護師臨床経験有 佐藤 絹代(4) 中村 徹(2)(つくばセントラル) 神津文子(4)(JA とりで) 岩田 彩華(4) 看護師臨床経験有 砂長 久枝(8) 看護師臨床経験有	
科目全体のねらい・到達目標					
1. 各疾患患者の特徴と看護の役割を理解する 2. 各疾患患者の主な検査・治療・処置に伴う看護を理解する 3. 各疾患患者の日常生活活動のアセスメント方法を理解する 4. 各疾患患者のそれぞれの年齢に応じた看護問題から看護援助へのプロセスを理解する					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	9/14	2限	がん医療の基礎的知識	講義	増尾
2	9/19	3限	がん患者の看護		
3	9/26	2限	〃		
4	10/26	4限	〃		
5	10/25	1限	緩和ケアの基礎知識	講義	佐藤
6	11/1	1限	緩和ケアの看護		
7	11/7	2限	がん患者に使用される薬剤(疼痛コントロール)	講義	中村
8	11/20	3限	感染症の基礎知識	講義	神津
9	11/20	4限	感染症の症状、看護		
10	5/9	1限	検査の介助(循環機能検査)誘導心電図	演習	岩田
11	5/9	2限	〃		
12	10/4	1限	周手術期の看護技術(術前の看護技術)	演習	砂長
13	10/4	2限	〃		
14	10/30	1限	周手術期の看護技術(術後の看護技術)		
15	10/30	2限	〃		
備考					
評価方法 筆記試験＋態度、課題 計100点					
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座「がん看護学」、「緩和ケア」「臨床外科看護総論・各論」 ヌーベルヒロカワ「緩和ケア」南江堂「成人看護技術」					
参考文献					

(実務経験のある教員等による授業科目)

専門分野	成人看護学	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)	
科目名	成人援助論Ⅵ	単位数	1単位	砂長 久枝(15)	
教育内容	成人看護過程	時間数	15 時間	看護師臨床経験有	
科目全体のねらい・到達目標					
1. 疾患・障害をもつ成人期にある患者の身体面・精神面・社会面に及ぼす影響について理解する					
2. 経過別の特徴を踏まえた看護過程を展開できる					
3. セルフケア能力向上に向けての指導計画を考えることができる					
4. 個別性を考えた退院支援を考えることができる					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	9/12	2限	成人看護の基礎的知識	講義	砂長
2	9/21	3限	看護過程展開(急性期)	講義	
3	9/21	4限			
4	9/27	4限			
5	10/3	1限	看護過程展開(慢性期)	講義	
6	10/3	2限			
7	10/11	1限			
8	10/11	2限 (0.5h)	終講試験	試験	
備考					
評価方法 筆記試験＋態度、課題 計100点					
使用するテキスト 医学書院「成人看護学1—15」					
参考文献					

(実務経験のある教員等による授業科目)

専門分野	老年看護学	配当時期	2年次前期	担当者(担当時間数)	
科目名	援助論Ⅱ	単位数	1単位	高城 利恵 (24) 看護師臨床経験有 土子 卓也 (6) (宮本病院)	
教育内容	高齢者の生活機能を整える 健康逸脱からの回復を促す 治療を必要とする高齢者の看護	時間数	30 時間		
科目全体のねらい 高齢者の生活機能を整える看護の実際(評価基準や具体的な援助方法など)について理解する 症候のアセスメントと看護の実際について理解する 身体疾患のある高齢者の看護と治療を受ける高齢者の看護の実際について理解する					
回	日	時間	学習内容と成果		担当
1	4/11	1 限	日常生活を支える基本的活動 ①基本動作と環境のアセスメント②転倒のアセスメントと看護③廃用症候群のアセスメントと看護(基本的な ADL の評価指標:パーセルインデックス・手段的 ADL の評価指標:IADL 尺度など)		高城
2	5/8	3 限	1. 食事・食生活 ①高齢者における食生活の意義②高齢者に特徴的な変調③食生活のアセスメントと支援(マズローによる自己実現理論と食事の関係性・摂食嚥下過程の 5 期モデル・栄養スクリーニング・高齢者のエネルギー必要量、水分摂取量、タンパク質推奨量など)		高城
3	5/17	1 限	排泄 ①高齢者の排泄の基本②排尿障害のアセスメントとケア③排便障害のアセスメントとケア(超音波暴行容量測定装置・ブリストル便性状スケールなど)		高城
4	5/29	3 限	清潔 ①清潔の意義②高齢者に生じやすい清潔に関する健康課題③清潔のアセスメントと援助(清潔ケア実施上のリスクなど)		高城
5	6/2	1 限	高齢者の生活機能を整える看護(食事・排泄・清潔)まとめ		高城
6	6/28	4 限	生活リズム ①高齢者と生活リズム②高齢者に特徴的な変調③生活リズムのアセスメントとケア(健康人の夜間睡眠時間の加齢変化・不眠の原因・睡眠障害をきたす薬剤など)		高城
7	7/4	3 限	コミュニケーション ①高齢者のコミュニケーションと関わり方の原則②コミュニケーション能力のアセスメント③高齢者の状態・状況に応じたコミュニケーション方法(コミュニケーション能力のアセスメントと観察のポイント・失語症と構音障害の鑑別のポイントなど)		高城
8	9/12	3 限	1. セクシュアリティ ①高齢者におけるセクシュアリティ②高齢者ケアの場における性に関する問題 2. 社会参加 ①高齢者の現状と目指す社会の方向性②地域における高齢者の社会参加 3. 高齢者の生活機能を整える看護(コミュニケーション・セクシュアリティ・社会参加)まとめ		高城
9	9/15	3 限	症候のアセスメント ①発熱②痛み③掻痒(発熱とうつ熱の違い・疼痛スケール(NRS・フェイススケール・日本版アビースケール)など)		高城
10	9/21	2 限	症候のアセスメント ④脱水⑤嘔吐(水分の供給と排出経路の目安・嘔吐の原因・誘因のアセスメントなど)		高城
11	9/29	3 限	症候のアセスメント ⑥浮腫⑦倦怠感(浮腫の分類など)		高城
12	10/3	4 限	症候のアセスメント GW 発表		高城
13	6/2	2 限	身体疾患のある高齢者の看護 ①脳卒中②心不全③糖尿病④慢性閉塞性肺疾患		高城
14	6/9	1 限	身体疾患のある高齢者の看護 ⑤パーキンソン病⑥肺炎⑦骨粗鬆症⑧骨折		高城
15	6/13	1 限	治療を必要とする高齢者の看護 ①検査を受ける高齢者の看護②薬物療法を受ける高齢者の看護③入院治療を受ける高齢者の看護(退院調整・退院支援など)		高城
備考					
評価方法 筆記試験 100 点					
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座 老年看護学「老年看護学」					
参考文献					

(実務経験のある教員等による授業科目)

専門分野	老年看護学	配当時期	2年後期	担当者(担当時間数)	
科目名	老年援助論Ⅲ	単位数	1単位	高城 利恵(9)	
教育内容	認知症高齢者看護 高齢者の医療安全 看護過程	時間数	15時間	看護師臨床経験有 石井 弘子(4)(宮本病院) 堀江 里花(2)(宮本病院)	
科目全体のねらい・到達目標 認知症高齢者の看護の実際を理解する 高齢者のリスクマネジメントについて理解する 高齢者の特徴を考慮した看護過程の展開ができる					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	10/24	4限	認知機能に障害のある高齢者の看護 ①認知症の定義②認知症の症状(中核症状・BPSD)③認知症の病態・診断・治療・予防④認知機能の評価(HDS-R・NM スケール)⑤看護(認知症看護の原則・環境調整・認知症高齢者と家族へのサポートシステム(オレンジプラン・認知症カフェ)など	講義	石井
2	11/7	4限	生活療養の場における看護 ①保健医療福祉施設および居住施設における看護②地域密着型サービス③多職種連携実践による活動など	講義	
3	11/17	2限	高齢者の医療安全 ①高齢者特有のリスク要因②高齢者がみまわれやすい医療事故と対応の実際	講義	堀江
4	11/27	1限	看護過程の展開 ①エンドオブライフ(エンドオブライフの概念・死生観・終活・高齢者の尊厳を守るための支援・アドバンスケアプランニング)②問題解決型思考と目標志向型思考	講義 GW	高城
5	12/20	1限	看護過程の展開	GW	
6		2限	〃	GW	
7	1/31	3限	〃	講義	
8			筆記試験		高城
備考					
評価方法 筆記試験 70点、課題・演習 30点					
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座 老年看護学「老年看護学」 「老年看護学病態・疾患論」					
参考文献					

専門分野	小児看護学	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)	
科目名	小児看護学概論	単位数	1単位	野原 恵美(30) 看護師臨床経験有	
教育内容	概論・保健	時間数	30時間		
科目全体のねらい・到達目標 1. 小児の成長・発達について学び、身体的・精神的・社会的特徴を理解する 2. 小児保健の動向をとらえ、小児における保健・医療・福祉について理解する 3. 小児期における基本的な生活習慣、健康診査、予防接種について学び、小児とその家族の健康を守るための支援を理解する 4. 子どもの権利と小児看護における倫理的問題を理解する 5. 小児医療と小児看護における看護職の果たす役割を理解する					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	4/12	2限	1. 小児看護の特徴と理念 1) 小児看護の対象と役割	講義	野原
2	5/24		2. 小児と家族の諸統計	講義	
3	6/7		4. 小児看護の変遷	講義	
4	10/24	2限	5. 小児と家族を取り巻く社会 1) 法律と政策 2) 学校保健 3) 予防接種 4) 病児教育	講義	
5		3限	6. 小児の成長・発達 1) 成長・発達とは 2) 成長・発達の進み方 3) 影響する要因 4) 評価	講義	
6	10/31	3限	7. 小児の栄養	講義	
7	11/1	2限	8. 小児各期の発達段階と発達課題 新生児 基本的な生活習慣の発達とその援助 (新生児)	講義	
8	11/6	2限			
9	11/21		9. 小児各期の発達段階と発達課題 乳児期 基本的な生活習慣の発達とその援助 (乳児)	講義	
10	11/30	2限			
11	11/30	3限	10. 小児各期の発達段階と発達課題 幼児期 基本的な生活習慣の発達とその援助(幼児、全般)(離乳食)	講義	
12	12/8	3限			
13	12/8	4限	11. 小児各期の発達段階と発達課題 学童期 思春期 青年期 移行期医療	講義	
14	12/19	1限	12. 家族の特徴とアセスメント 1) 子どもにとっての家族とは 2) 家族アセスメント	講義	
15		2限		終講試験	試験
備考					
評価方法 筆記試験70点 課題・態度30点					
使用するテキスト 1. 医学書院 系統看護学講座 小児看護学 小児看護学概論 小児臨床看護総論					
参考文献 1. インターメディカ「写真でわかる 小児看護技術アドバンス」 2. メジカルフレンド社 看護実践のための根拠がわかる 小児看護技術 第3版					

(実務経験のある教員等による授業科目)

専門分野	小児看護学	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)	
科目名	小児援助論 I	単位数	1単位	野原 恵美(15) 看護師臨床経験有	
教育内容	小児看護技術	時間数	15時間		
科目全体のねらい・到達目標					
1. 実践に向けた小児看護の視点と特徴について理解する 2. 小児看護に必要なアセスメントについて理解する 3. 小児看護技術の基本について理解する 4. 小児の状況把握のための看護技術について理解する 5. 日常生活援助に関わる看護技術について理解する 6. 検査・処置・治療に伴う看護技術について理解する					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	10/25	2限	小児看護の対象と目的、特徴 ①対象の特性 ②実践に向けた小児看護の視点 ③小児看護技術の特徴 小児看護に必要なアセスメント ①こどもセルフケア看護理論 ②家族システム論 小児看護技術の基本 ①コミュニケーション ②遊びの援助 ③プレパレーション ④医療安全・事故防止	講義	野原
2	11/2	3限	小児の状態把握のための看護技術 ①観察、フィジカルアセスメント、バイタルサイン ②虐待予防 ③痛みの評価 ④身体計測(発育・栄養状態の評価)	講義 演習	
3	11/6	3限	新生児のバイタルサインの測定、観察 日常生活援助に関わる看護技術		
4		4限	①清潔、衣生活 ②栄養摂取 ③排泄 ④移動 ⑤睡眠 ⑥環境調整 ⑦感染予防		
5	11/9	1限	検査・処置・治療時の看護 ①検体採取(採血、採尿、採便、鼻咽頭) ②導尿、浣腸 ③穿刺(骨髄、腰椎) ④安全・安静確保の技術(運動抑制、固定) ⑤与薬 ⑥輸液管理 (滴下計算、固定方法、輸液による生活制限を最小にする看護) ⑦経管栄養 ⑧輸血 ⑨吸入、吸引 ⑩酸素療法 ⑪牽引 ⑫ストーマケア		
6		2限			
7	11/22	1限	発達段階ごとのプレパレーション(新生児、乳幼児、学童期) まとめ		
8			筆記試験		
備考					
評価方法 筆記試験 70点、課題、態度 30点					
使用するテキスト 1. メジカルフレンド社 看護実践のための根拠がわかる 小児看護技術 第3版 2. 医学書院 系統看護学講座「小児看護学概論 小児臨床看護総論」「小児臨床看護各論」					
参考文献 1. インターメディカ 「写真でわかる小児看護技術アドバンス」					

専門分野	小児看護学	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)	
科目名	小児援助論Ⅱ	単位数	1単位	野原 恵美 (30)	看護師臨床経験有
教育内容	経過別看護(小児)	時間数	30時間		
科目全体のねらい・到達目標 1. 病気や障害をもつ子どもと家族の特徴と看護について理解することができる 2. さまざまな症状を示す子どもと家族の看護について理解することができる 3. あらゆる健康レベルにある子どもと家族の特徴と看護を理解することができる 4. 小児期特有の事故について学び、安全教育の必要性を知り、事故対策および救急法の具体的援助を理解する					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	12/21	2限	1. 病気・障害が子どもと家族に与える影響	講義	野原
2		3限	2. 入院中の子どもと家族の看護 1)入院環境と看護の役割 2)入院中の子どもと家族の特徴 3)行動制限のある子どもと家族の看護 活動制限、隔離、抑制	講義	
3	1/29	4限	3. 急性症状のある子どもの看護 1)発熱 2)痛み 3)下痢・嘔吐 4)脱水 5)呼吸困難	講義	
4	1/31	1限	4. 6)痙攣 7)便秘 8)発疹 9)出血		
5	1/31	2限	5. 小児外来における子どもと家族の看護	講義	
6	2/1	2限	6. 急性期にある子どもと家族の看護	講義	
7		3限	7. 慢性期にある子どもと家族の看護	講義	
8		4限	8. 周手術期にある子どもと家族の看護	講義	
9	2/7	2限	9. 救急処置が必要な子どもと家族の看護 1)誤飲、溺水、熱傷 2)トリアージと対応 3)意識レベル	講義	
10	2/8	2限	10. 在宅療養中の子どもと家族の看護 1)医療的ケアを必要として退院する子どもと家族の看護	講義	
11		3限	11. 災害時の子どもと家族の看護	講義	
12	3/4	3限	12. 終末期にある子どもと家族の看護 1)子どもを亡くした家族の看護 2)終末期における多職種チーム	講義	
13		4限	13. 障害のある子どもと家族の看護 1)先天性疾患・心身障害のある子どもと家族の看護	講義	
14	3/5	3限	14. 子どもの虐待と看護	講義	
15	3/5	4限	15. まとめ 終講テスト	試験	
備考					
評価方法 筆記試験 70点、課題・態度30点					
使用するテキスト 1. 医学書院 系統看護学講座「小児臨床看護各論」、「小児看護学概論 小児臨床看護学概論」 2. メジカルフレンド社 看護実践のための根拠がわかる 小児看護技術 第3版					
参考文献 1. インターメディカ 写真でわかる小児看護技術					

(実務経験のある教員等による授業科目)

専門分野	小児看護学	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)	
科目名	小児援助論Ⅲ	単位数	1単位	野原 恵美(5) 看護師臨床経験有 中島 友美(4)(JA とりで) 佐藤 真紀(6)	
教育内容	健康障害の看護 看護過程	時間数	15時間		
科目全体のねらい・到達目標 1. 疾病・障害をもつ子どもと家族の特徴と看護を理解する 2. 疾病の経過、症状別の看護、症状のアセスメントと看護を理解する 3. 生活に影響を及ぼす健康問題をかかえる小児の看護を理解する 4. 小児の特徴を踏まえた看護過程の展開ができる					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	11/21	3限	2. 呼吸器疾患の看護 1) 上気道疾患 2) 肺炎(細菌性・ウイルス性・RS・マイコプラズマ)	講義	中島
2		4限	5. 循環器疾患の看護 1) 川崎病 2) ファロー四徴症	講義	
3	11/28	3限	7. 腎・泌尿器系疾患の看護 1) ネフローゼ症候群 2) 腎不全 3) 尿路感染症 4) 溶血性尿毒症	講義	佐藤
4		4限	8. 内分泌・代謝疾患の看護 アレルギー 免疫疾患 1) I型糖尿病 2) 気管支喘息 3) 食物アレルギー 4) 自己免疫性疾患	講義	
5	12/5	4限	9. 悪性新生物・血液造血器疾患 1) 疼痛緩和 2) 骨髄移植	講義	
6	1/29	3限	事例に沿った看護過程の展開①	ワーク	野原
7	2/5	3限	事例に沿った看護過程の展開①	ワーク	
8			終講テスト	試験	
備考					
評価方法 筆記試験 70点 課題、ワーク 30点					
使用するテキスト 医学書院系統看護学講座「小児看護学概論小児臨床看護総論」、「小児臨床看護各論」					
参考文献					

(実務経験のある教員等による授業科目)

専門分野	母性看護学	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)	
科目名	母性看護学概論	単位数	1単位	後藤 久美子(15) 助産師臨床経験有	
教育内容		時間数	15時間		
科目全体のねらい・到達目標 ・母性の対象について一生涯を通して捉えることを学ぶ ・リプロダクティブヘルス/ライツの概念から、母性の役割を広く捉え、健全なライフサイクルを送るための看護について学ぶ 1. 母性の概念と母性各期の特徴を理解し、母性看護の役割について理解する 2. リプロダクティブヘルス/ライツの意義を理解する 3. 母性各期の健康に影響を及ぼす因子を理解し母性の健康維持・増進・疾病予防のための看護を理解する 4. 母性の対象を取り巻く保健医療福祉をめぐる社会の変遷と現状を理解する					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	4/10	1限	1. 母性看護の基盤となる概念 A. 母性看護と周産期 B. 母性看護における倫理	講義	後藤
2	4/26	1限	2. 母性看護の対象をとり巻く社会の変遷と現状 A. 母子保健の現状 B. 母子保健の歴史 C. 母子保健に関連する施策とその動向	講義	
3	5/29	2限	3. 母性看護の対象の理解	講義・演習	
4	6/6	2限	4. 女性のライフステージ各期における看護 A. ライフサイクルにおける女性の健康と看護 B. 思春期の健康と看護 C. 成熟期の健康と看護 D. 更年期の健康と看護 E. 老年期の健康と看護	講義	
5	6/9	2限	5. リプロダクティブヘルスケア A. 家族計画 B. 性感染症と予防 C. HIVに感染した女性に対する看護	講義・演習	
6	6/13	2限	D. 人工妊娠中絶と看護 E. 喫煙女性の健康と看護 F. 性暴力を受けた女性に対する看護	講義	
7	7/6	2限	G. 児童虐待、先天異常への看護 母性に関する映像資料視聴 H. 在日外国人の母子保健 母性に関する映像資料視聴	講義	
8	7/10	2限	終講試験	試験	
備考					
評価方法 筆記試験 80点 レポート 20点					
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座「母性看護学概論」					
参考文献					

専門分野	母性看護学	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)	
科目名	母性援助論Ⅰ	単位数	1単位	山田 千恵(12)	
教育内容	妊娠期の看護 分娩期の看護 ハイリスク妊娠	時間数	30時間	鈴木 景子(8) 木村 千代(6) 松村 淳子(4)	
科目全体のねらい・到達目標 1. 正常妊婦の看護について理解する 2. 異常に経過する妊婦の看護について理解する					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	方法
1	5/24	1限	I. 妊娠期から分娩期における看護	講義	山田
2	5/31		1. 妊娠期の身体的特性	講義	
3	6/7		2. 妊娠期の心理・社会的特性	講義	
4	6/14		3. 分娩の要素	講義	
5	7/5		4. 分娩の経過 事例学習	講義	
6	7/12			演習	
7	7/11	3限	II. 妊娠期のアセスメントと看護	講義	鈴木
8	7/11	4限	1. 妊婦と胎児のアセスメント	講義	
9	7/18	3限	2. 妊婦と家族の看護 事例	講義	
10	7/18	4限			
11	9/7	3限	III. 妊娠期の健康課題と看護 1. ハイリスク妊娠 2. 妊娠期の感染症 3. 妊娠疾患 4. 多胎妊娠 5. 妊娠持続期間の異常 6. 異所性妊娠	講義	木村
12	9/7	4限		講義	
13	9/14	4限		講義	
14	9/22	3限	7. ハイリスク妊婦の看護 事例学習	講義	松村
15		4限		演習	
備考					
評価方法 筆記試験 100点					
使用するテキスト 医学書院 系統看護博講座 母性看護学「母性看護学各論」					
参考文献					

専門分野	母性看護学	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)	
科目名	母性援助論Ⅱ	単位数	1単位	松村 淳子(10)	
教育内容	分娩期の看護 産褥期の看護 新生児の看護	時間数	30時間	山田 文代(20)	
科目全体のねらい・到達目標					
1. 正常・異常に経過する産婦の看護について理解する 2. 分娩期の正常と異常になった産婦の看護について理解する 3. 新生児の看護について理解する					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	10/3	3限	1.分娩期の看護 1)産婦の心理、社会的変化 2)産婦・胎児・家族のアセスメント 3)産婦と家族の看護 4)分娩期の看護の実際	講義	松村
2	10/3	4限	5)分娩1期の看護 ①活動期②終盤(産痛緩和) 6)分娩2期の看護	講義	
3	10/10	3限	7)分娩3・4期の看護(胎盤計測)	講義	
4	10/10	4限	1)異常のある産婦の看護 2)破水が生じた産婦の看護 3)分娩遷延リスクのある産婦の看護	講義	
5	10/31	4限	4)胎児機能不全を生じるリスクのある看護 5)帝王切開術を受ける産婦の看護 6)骨盤分娩時の看護 7)異常出血のある産婦の看護	講義	
6	10/6	3限	産褥期の看護	講義	山田
7	10/6	4限	産褥期のアセスメント	講義	
8	11/17	3限	産褥体操の実際	講義	
9	11/17	4限	産褥期の異常の全体像 ・子宮復古不全	講義	
10	11/24	3限	・産褥熱 ・帝王切開後の看護	講義	
11	11/24	4限	産科精神疾患と看護	講義	
12	12/1	3限	2. 新生児期における看護 1)新生児の生理	講義	
13	12/1	4限	2)新生児のアセスメント	講義	
14	12/14	3限	3)新生児の看護	講義	
15	12/14	4限	異常新生児の看護	講義	
備考					
評価方法 筆記試験100点					
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座「母性看護学各論」					
参考文献					

(実務経験のある教員等による授業科目)

専門分野	母性看護学	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)	
科目名	母性援助論Ⅲ	単位数	1単位	木村 千代(2)	
教育内容	産科病棟管理 母性看護技術 看護過程	時間数	15時間	後藤 久美子(13) 助産師臨床経験有	
<p>科目全体のねらい・到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊産婦に関わる看護師、助産師、保健師の役割および多職種との連携を含めた看護援助が理解できる 2. 母性看護に特有な看護技術を習得する 3. ウェルネス志向型の母性特有な看護展開について学ぶ 					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	11/30	4限	助産師外来・病棟の管理	講義	木村
2	11/14	1限	沐浴デモンストレーション(全体) 妊婦健診演習 新生児の身体計測とバイタルサイン測定演習	演習	後藤
3	11/20	1限	妊娠期のアセスメントと看護過程	講義	後藤
4	11/28	1限	分娩期のアセスメントと看護過程	講義	
5	12/5	1限	産褥期のアセスメントと看護過程 産褥期の診断リスト 帝王切開後の全身状態のアセスメントと計画	講義	後藤
6	12/5	2限	新生児のアセスメントと看護過程	演習	
7	12/11	1限	事例展開		
8			終講試験		
備考					
<p>評価方法 筆記試験20点 課題レポート80点</p>					
<p>使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座 母性看護学「母性看護学各論」、 南山堂 根拠がわかる母性看護過程</p>					
参考文献					

専門分野	精神看護学	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)	
科目名	精神援助論Ⅰ	単位数	1単位	三橋 弘志(6)	
教育内容	精神科看護の役割 地域精神保健活動 リエゾン看護	時間数	15時間	前田 聡(6) 篠塚 由美子(3)	
<p>科目全体のねらい・到達目標</p> <p>精神を病む人の理解と臨床における看護援助のあり方について学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神科における看護の役割を理解する 2. 主な症状のアセスメントと看護について理解する 3. 地域精神保健活動について理解する 4. 看護者のメンタルヘルスとリエゾン看護について学ぶ 					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	11/14	2限	1. 回復を支援する	講義	三橋
2	11/21	2限	A. 治療の場におけるリカバリーの試みと看護の視点 B. リカバリーを促す環境と方法 C. さまざまな回復のためのプログラム		
3	11/28	2限	2. 地域における精神看護(ケアの方法と看護の実際)	講義	
4	11/24	2限	3. 医療の場におけるメンタルヘルスと看護 A. 身体疾患を持つ患者のメンタルヘルス B. リエゾン精神看護	講義	前田
5	12/1	2限	4. 災害時のメンタルヘルスと看護	講義	
6	12/8	2限	5. 看護師のメンタルヘルス	講義	
7	12/14	3限	6. 精神障害と法制度	講義	篠塚
8			終講試験		篠塚
備考					
<p>評価方法</p> <p>筆記試験 100点</p>					
<p>使用するテキスト</p> <p>医学書院 系統看護学講座 精神看護学「精神看護の基礎」「精神看護の展開」 別巻「精神保健福祉」</p>					
参考文献					

(実務経験のある教員等による授業科目)

専門分野	精神看護学	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)		
科目名	精神援助論Ⅱ	単位数	1単位	諸岡 和晃(6)		
教育内容	精神科看護の役割 精神疾患・障害をもつ患者の看護	時間数	30時間	古畑 貴子(18) 看護師臨床経験有 野口 陽子(4) 石井 弘子(2)		
科目全体のねらい・到達目標 精神を病む人の理解と臨床における看護援助のあり方について学ぶ 1. 精神科における看護の役割を理解する 2. 精神を病む人の特徴を理解する 3. 看護援助の基本について学ぶ 4. 主な症状のアセスメントと看護について理解する						
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当	
1			1. ケアの間関係 2. 回復を支援する	講義	諸岡	
2			2. 入院治療の意味を理解する A.精神科を受診すること B.治療的環境を理解する			
3			C.入院中の観察とアセスメント D.ケアの方向性を考える(入院～退院に向けて)			
4	1/30	2限	3. 精神科における身体のケアと実際		講義・演習	古畑
5	2/6	1限	A.精神科の治療に伴う身体のケア			
6	2/6	2限	B.身体合併症のアセスメントとケア			
7	2/9	2限	3. 安全を守る A.リスクマネジメントの考え方と方法 B.緊急事態に対処する			
8	2/27	2.3限	4. 精神疾患・障害をもつ患者への看護 ・統合失調症 ・うつ病、双極性障害	講義		
9			・認知症、妄想性障害			
10	11/9	2限	・アルコール依存症・強迫性障害	講義	石井	
11	11/16	2限	精神科リハビリテーション			
12			まとめ 終講試験			講義
13	3/5	1限				
14	3/5	2限				
15						
備考						
評価方法 筆記試験80点 課題・演習態度 20点						
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座 精神看護学「精神看護の基礎」「精神看護の展開」						
参考文献						

専門分野	看護の統合と実践	配当時期	2年次前期	担当者(担当時間数)	
科目名	医療安全	単位数	1単位	前田 聡(15)	
教育内容	安全管理・感染対策	時間数	15時間		
科目全体のねらい・到達目標 1. 医療における患者の安全について理解する 2. 患者の安全を守るために必要な知識・技術を習得する 3. 看護事故の視点から、それぞれの業務特性を理解する 4. 診療の補助業務に伴う事故防止を理解する 5. チームの一員として参加するためのコミュニケーションの重要性が分かる					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	5/12	2限	医療安全とは	講義	前田
2	5/19		医療事故の要因・ヒューマンエラー	講義	
3	6/30		業務の特性と医療事故	講義	
4	7/7		危険予知トレーニング	講義・演習	
5	7/14		医療事故防止策	講義・演習	
6	9/15		インシデントレポート	講義・演習	
7	9/22		感染防止・院内感染	講義	
8	9/29		筆記試験	試験	
備考					
評価方法 筆記試験 100点					
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座 統合分野「医療安全」					
参考文献 医学書院 医療安全ワークブック					

専門分野	看護の統合と実践	配当時期	2年次後期	担当者(担当時間数)	
科目名	看護研究の基礎	単位数	1単位	砂長 久枝 (30)	
教育内容	ケーススタディ	時間数	30時間	看護師臨床経験有	
科目全体のねらい・到達目標 1. 研究の必要性・重要性を理解する 2. 研究方法の種類を理解する 3. ケース・スタディの意義と特徴が理解できる 4. ケース・スタディの計画を立案できる 5. 実践した看護を振り返り、ケース・スタディとしてまとめ発表することができる 6. 実践した看護を評価・考察し、今後の課題が明確になる 7. ケース・スタディをまとめ発表会に参加することで看護観を深めることができる。					
回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	1/9	3限	1. 看護研究とは	講義 演習	砂長
2	1/29	1限	2. 研究方法の種類		
3	1/29	2限	3. 事例研究の種類		
4	2/5	1限	4. ケース・スタディとは		
5	2/5	2限	1) ケース・スタディの計画		
6	2/7	1限	2) ケース・スタディの形式とレポートの書き方		
7	2/26	1限	3) ケース・スタディの実際		
8	2/26	2限			
9	3/4	1限			
10	3/4	2限			
11	3/7	1限			
12	3/7	2限			
13	3/11	1限			
14	3/13	1限	4) ケース・スタディの発表	発表	
15	3/13	2限	5. 評価		
備考					
評価方法 ケース・スタディの評価表に則り評価する					
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座 別巻「看護研究」					
参考文献					